

政策 目標	重点 課題	頁	主 要 事 業	所 管 部
4. みんなで行動する環境の街				
低炭素社会の推進と循環型社会の構築				
	P32		エネルギー戦略推進事業	政策企画部
	P33		廃棄物処理施設整備計画策定調査	環境事業部
	P34		環境プラザの展示物更新と環境相談の強化	環境都市推進部
	P35		札幌・エネルギーecoプロジェクト事業	環境都市推進部
	P36		太陽光発電関連	環境都市推進部
	P37		省エネ型冷蔵庫買替キャンペーン事業	環境都市推進部
	P38		札幌省エネアクションプログラム事業	環境都市推進部
多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり				
	P39		動物園新施設整備関連	円山動物園

(単位：千円)

目的

低炭素社会と脱原発依存社会の実現を目指し、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入促進などによるエネルギー転換を推進

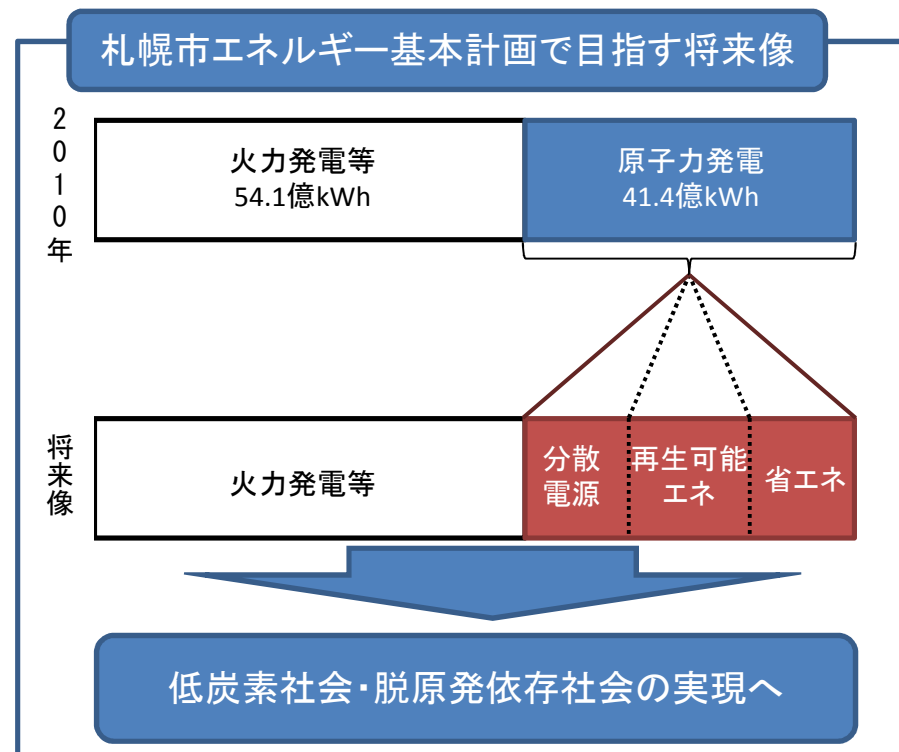
	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	13,000	20,300	12,500	-
(うち一般財源)	(13,000)	(20,300)	(12,500)	-
査定の考え方	【財政局査定】 委託業務及び事務費の精査(▲7,800)			

事業内容

[事業費：20,300千円]

札幌市全体の総合的なエネルギー施策の展開に向けた札幌市エネルギー基本計画を推進するため、市民向けの普及啓発や中長期的な視点からの新たな施策の調査検討の実施、半世紀先を見据えた総合的な施策大綱の策定

- ・ 市民向けパンフレット作成 300千円
- ・ 新たな政策の調査検討 7,780千円
- ・ 施策大綱の策定 12,220千円



廃棄物処理施設整備計画策定調査

環)環境事業部

(単位：千円)

目的

駒岡清掃工場の更新に向けて、安定的なごみ処理体制の維持に加え、効率的なエネルギー回収システムの導入による更なる廃棄物発電や熱利用の推進策を検討

事業内容

[事業費：33,484千円]

駒岡清掃工場の更新計画策定に向けた、基本構想に対する専門委員会からの意見聴取、環境影響評価手続きに伴う配慮書の作成、事業予定地の確定測量、新資源化技術導入調査

- ・ 清掃工場更新基本構想検討委員会運営支援 5,154千円
- ・ 環境影響評価配慮書作成等 10,822千円
- ・ 事業予定地確定測量 3,186千円
- ・ 新資源化技術導入調査研究 12,434千円
- ・ 事務費等 1,888千円

スケジュール

項目	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
基本構想	●											
専門委員会・基本計画		●	●	●	●	●						
基本設計・工事発注						●	●	●	●	●	●	
清掃工場建設												稼働開始
用地取得	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
環境影響評価	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	25,000	33,484	15,000	-
(うち一般財源)	(25,000)	(33,484)	(15,000)	-
査定の考え方	【財政局査定】 過去実績と業務内容見直しにより精査 新資源化技術導入調査研究については計上見送り(▲18,484)			

駒岡清掃工場更新の将来イメージ



※写真は現駒岡清掃工場

更新計画

- ・ 最新鋭の公害対策設備
- ・ 災害に強い強固な建築構造
- ・ 高効率なエネルギー回収
- ・ 施設の省エネルギー化
- ・ 新たなバイオマスエネルギー活用
- ・ 環境教育の拠点化



※写真はイメージ(現白石清掃工場)

環境プラザの展示物更新と環境相談の強化【新規】

環)環境都市推進部

(単位：千円)

目的

札幌市環境プラザの展示コーナーについて、より効果的な情報提供や、実践的な学習ができるよう展示物を改修するほか、ソフト対策からハード対策まで、省エネ・節電に関する相談に幅広く対応できる窓口を設置することにより、環境教育・学習の推進や市民の省エネ・節電の取組を促進

①札幌市環境プラザ展示物更新

[事業費：17,987千円]

- ・「エネルギーの見える化ハウス(仮称)」の設置
東日本大震災を機にエネルギーに関する関心が高まっており、環境プラザの展示内容と市民の学習ニーズにかい離が生じているため、エネルギー教育に重点を置いた展示に更新
- ・展示物の可搬化
より多くの市民に環境配慮行動を実践してもらうため、出前講座等様々な場面で体験学習を行えるよう、展示物を一部可搬化
- ・実施設計費 771千円
- ・展示物製作、設置費 17,216千円

- ・「エネルギーの見える化ハウス(仮称)」を設置
家庭の部屋ごとに使用するエネルギー(電気・水・ガス)の量をモニター等で表示し、エネルギーの使い方をゲーム感覚でシミュレーション
↓
賢いエネルギーの使い方を学び、実践を促進
- ・展示物の可搬化
展示物を一部可搬式にし、出前講座等で幅広く活用

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
① 事業費	0	17,987	12,000	-
(うち一般財源)	(0)	(17,987)	(12,000)	-
② 事業費	0	9,960	1,100	-
(うち一般財源)	(0)	(9,960)	(1,100)	-
査定の考え方		【財政局査定】 ①経費等の精査(▲5,987) ②マニュアル作成を書籍購入で対応等(▲8,860)		

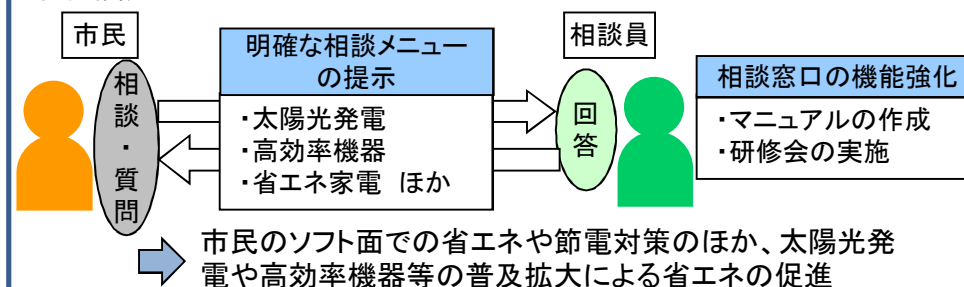
②家庭向け省エネ・節電総合相談窓口事業

[事業費：9,960千円]

家庭内の省エネ・節電の推進及び太陽光発電、高効率機器の導入等に関する総合的な相談窓口を環境プラザ内に設置。設置にあたり、相談員用マニュアル作成や研修会を実施するほか、市民向け配付用パンフレットを作成

- ・マニュアル作成、研修会の実施等 9,292千円
- ・ポスター(750部)、チラシ(30,000部)等の作成 668千円

<総合相談窓口のイメージ>



(単位：千円)

目的

新エネルギーの導入、省エネルギー機器への転換促進を図り、地球温暖化対策を推進

事業内容

[事業費：654,977千円]

市民・中小企業者等に対する新エネ・省エネ機器の導入を支援するとともに、電力需給対策の一環として蓄電システムに対する支援制度を実施

- ・ 補助金 493,000千円
- ・ 新エネ省エネ受付業務等 12,658千円
- ・ 過年度預託金、利子補給金等 149,319千円

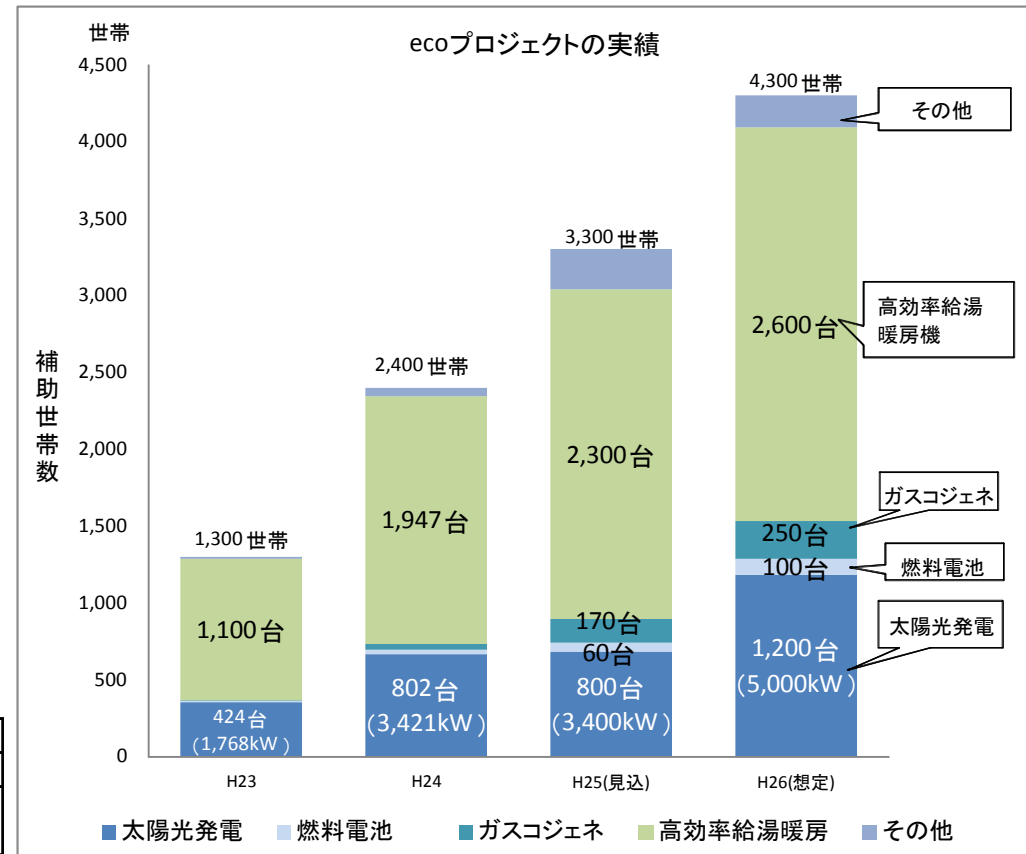
補助金の内訳 (千円)

	H25	H26
市民向け	253,000	417,000
町内会等向け	15,000	15,000
中小企業向け	45,000	61,000
補助金計	313,000	493,000

市民向け主な増額内容

	H25			H26		
	補助額(千円)	台数	補助総額(千円)	補助額(千円)	台数	補助総額(千円)
太陽光発電	35/kW	800	84,000	50/kW	1,200	240,000
	上限105	3,400kW		上限200	5,000kW	

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	502,000	654,977	500,500	-
(うち一般財源)	(244,029)	(512,806)	(204,829)	-
査定の考え方	【財政局査定】 過去実績等に基づく精査(▲154,477)			特定財源 繰入金 153,500 諸収入 141,171 寄付金 1,000



(単位：千円)

目的

原子力発電に依存しない社会を目指し、大規模再生可能エネルギーの普及を促進

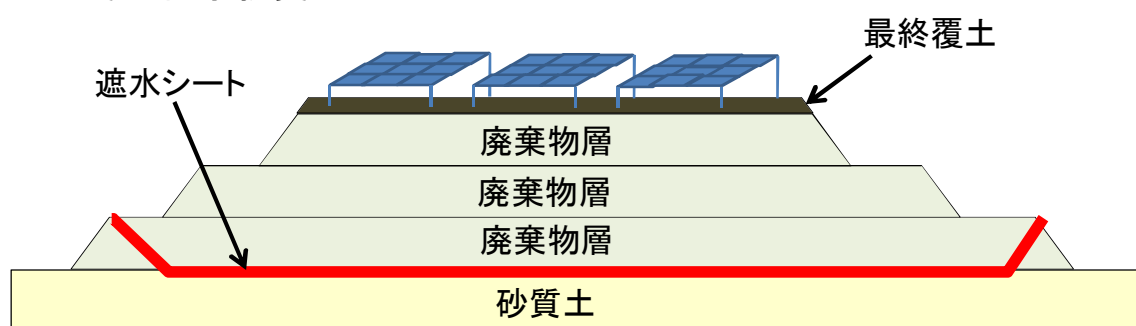
①埋立跡地太陽光発電誘致事業【新規】

[事業費：21,150千円]

埋立跡地における太陽光発電設備設置の可能性の検証
(面積3ha 発電容量最大800kWを想定)

○概要

- ・埋立跡地(3ha)に太陽光発電設備を設置するための地盤調査費用 10,000千円
- ・太陽光発電設備から北電送電網までのインフラ整備費用 11,000千円
- ・その他事務費 150千円



埋立跡地断面図

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
①	事業費	0	21,150	10,000
	(うち一般財源)	(0)	(21,150)	(10,000)
②	事業費	100,000	100,000	100,000
	(うち一般財源)	(0)	(100,000)	(0)
査定の考え方		【財政局査定】 ①民間での事業化が可能と判断し、調査費以外は計上見送り (▲11,150) ②要求のとおり		②特定財源 繰入金 100,000

②大規模太陽光発電推進事業

[事業費：100,000千円]

民間事業者がメガソーラー等を設置する際の、
設備設置費用及び緑化等に係る経費の一部を補助

○概要

【補助対象者】

札幌市内に大規模太陽光発電設備を設置する者

【補助対象設備】

経産省に設備認定を受けた大規模太陽光発電設備

【補助金額】

設備設置費用の5%、上限20,000千円

○補助金総額 100,000千円

省エネ型冷蔵庫買替キャンペーン事業【新規】 環)環境都市推進部

(単位：千円)

目的

家庭部門での節電を支援するため、節電効果の高い冷蔵庫への買替を促進すると共に、地域経済の活性化を促進

事業内容

[事業費：77,000千円]

省エネ基準3つ星以上かつ50,000円以上の冷蔵庫に買い替える世帯に対して、5,000円分の地域商品券を交付

- ・ 地域商品券交付：50,000千円 (5,000円×10,000件)
- ・ 委託費等：27,000千円

予想電力削減量

- ・ 1世帯あたり：230kWh/年 (約7.4%※)
- ・ 10,000世帯：2,300MWh/年 (約740世帯の1年分※)

※一般家庭の消費電力：3,120kWh/年 (260kWh/月×12カ月)
北海道電力(株)パンフレットより

スケジュール

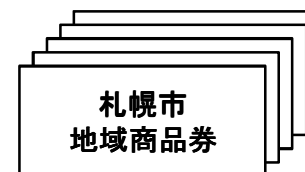
予定受付期間：平成26年5月上旬～9月30日

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	0	77,000	0	-
(うち一般財源)	(0)	(77,000)	(0)	-
査定の考え方	【財政局査定】 冷蔵庫買替のインセンティブの効果が不明確(▲77,000)			



買替

- ・ 省エネ基準3つ星以上
- ・ 50,000円以上



5,000円分の地域商品券※がもらえる!

申込受付件数：10,000件

※参加を希望し協定を締結した市内商店街での利用

(単位：千円)

目的

市有施設における省エネ技術の民間事業者への普及

事業内容

[事業費：153,778千円]

ア 市有施設の省エネ技術の標準化と環境マネジメントシステム(EMS)^{※1}におけるエネルギーマネジメントの強化

- ・計測機器購入(超音波流量計、サーモグラフ、熱線風速計等) 10,672千円
- ・市有施設での実証実験(3,000千円×10施設) 30,000千円
- ・事務費等 2,160千円

イ 市有施設でのエネルギー見える化システム導入

(7,000千円×11施設) 77,000千円

ウ 省エネ技術を市域全体に普及するための新たな仕組み作りと民間施設での実証実験

- ・省エネ技術者認定制度の検討 12,946千円
- ・民間施設での実証実験(3,000千円×7施設) 21,000千円

スケジュール

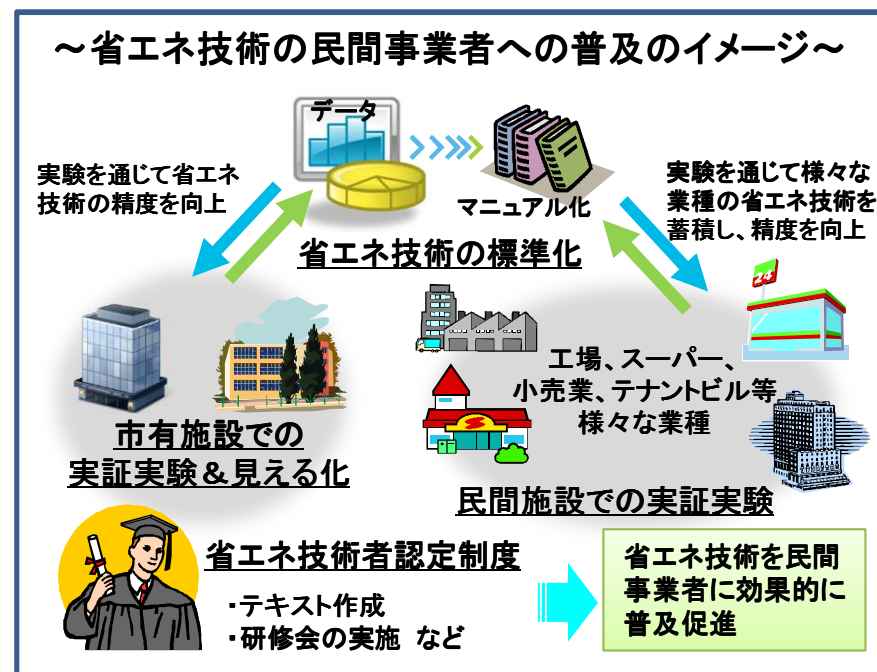
～実証実験&見える化の施設数～

	H24	H25	H26	H27
ア 実証実験(市有施設)	6施設	6施設	10施設	30施設
イ 見える化(市有施設)		(1施設 ^{※2})	11施設	
ウ 実証実験(民間施設)			7施設	50施設

※1 PDCA(Plan:計画、Do:実行、Check:点検、Action:見直し)サイクルを繰り返すことで、環境に与える影響を低減し、環境保全の取り組みを継続的に改善する仕組み

※2 H25年度は、市役所本庁舎で見える化実験を実施中

	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
事業費	18,000	153,778	112,000	-
(うち一般財源)	(18,000)	(153,778)	(112,000)	-
査定の考え方	【財政局査定】 認定制度の位置づけや効果及び民間事業者における実証実験成果の活用法が不明(▲41,778)			



動物園新施設整備関連

環) 円山動物園

(単位：千円)

目 的

アフリカのサバンナや水辺に生息する動物を展示するアフリカゾーンを建設するとともに、日本を代表する「ホッキョクグマの繁殖基地」を目指し、新たに国際的な施設基準に基づきホッキョクグマ館を建設

①アフリカゾーン建設

[事業費：1,217,857千円]

(うち、工事費及び監理費：1,200,200千円

※H26債務負担行為)

- ・ 建設 H25～26年度 ※H27年度オープン予定
- ・ 建物 RC平家建(一部2階建) 2,250㎡
- ・ 展示動物 11種、約30個体

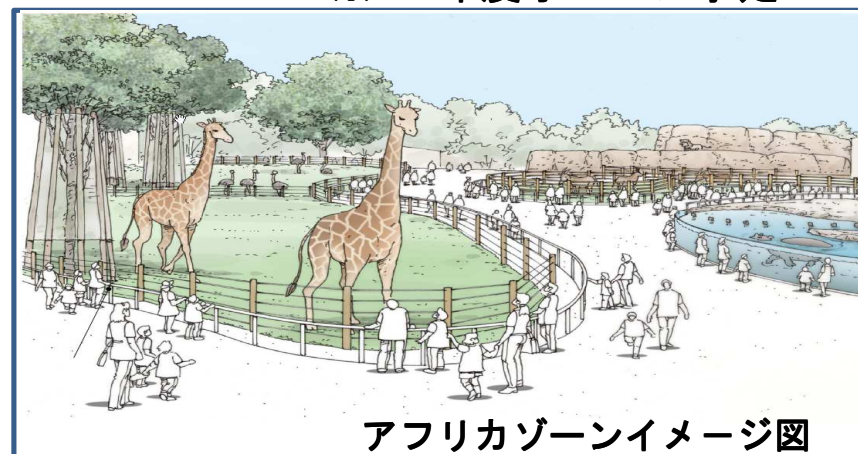
	H25予算	H26予算		
		要求額	財政局査定額	最終査定額
① 事業費	276,222	1,217,857	1,200,132	-
(うち一般財源)	(69,222)	(304,857)	(300,132)	-
② 事業費	15,700	24,169	14,700	-
(うち一般財源)	(15,700)	(24,169)	(14,700)	-
査定の考え方	【財政局査定】 ①過去実績を参考に精査(▲35,925) ②必要経費を精査(▲9,469)			①特定財源 市債 900,000

②新ホッキョクグマ館建設設計

[事業費：24,169千円]

(うち、設計委託料：14,700千円※H26債務負担行為)

設計 H25～26年度 建設 H27～28年度
※H28年度オープン予定



アフリカゾーンイメージ図